

米国キャメロンLNG輸送用の新造船舶の命名について
～船名を「Diamond Gas Sakura」に決定～

当社が三菱商事株式会社、日本郵船株式会社、東邦エルエヌジー船舶株式会社と共同保有^{※1}する米国キャメロンLNGプロジェクト向けのLNG船1隻（以下、「本船」）について、「Diamond Gas Sakura（ダイヤモンドガスサクラ）」と命名いたしました。

4月19日に三菱重工業株式会社長崎造船所（長崎県長崎市）において、関係者出席のもと命名式を行っております。

本船は、当社として初めて共同保有するLNG船であり、本年5月15日の竣工後、米国キャメロンLNGプロジェクト^{※2}からの当社および東邦ガス向けLNG輸送などに従事する予定です。

特長として、上部が下部より膨らんだリンゴ形状のタンクを採用し、LNGの積載効率を高めています。また、ガスと燃料油の両方を燃料として使用可能なディーゼル発電機によるモーター駆動と、ディーゼル発電機からの排熱を有効利用する高効率な蒸気タービン駆動を組み合わせた推進機関^{※3}を採用しており、燃料使用量と二酸化炭素排出量の削減を実現しています。

当社は、本船の活用により、LNGの輸送コスト低減や輸送体制の強化を図り、引き続きLNG調達における経済性・安定性の確保に努めてまいります。

以 上

※1 本船の共同保有については、2016年12月22日お知らせ済み。

※2 当社は、2022年から約16年間にわたり、Diamond Gas International Pte. Ltd.から年間約30万トンの米国キャメロンLNGを購入する基本合意書を締結しております（2014年4月24日お知らせ済み）。

※3 ハイブリッド2軸推進方式 STaGE (Steam Turbine and Gas Engines)。

（別紙）「Diamond Gas Sakura」命名式の様子および同船の概要